

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あっとほーむ見附		公表日	令和 8年 2月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・2階の相談室で個別で療育,宿題などをおこなうこともあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・職員の配置は基準を満たす配置にしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・視覚的ツール、絵カードなどを活用しています。	・車いすの方は現在はいませんが、スロープや手すりがあると良いと考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎日の清掃、換気、消毒はおこなっています。 ・エアコンや窓なども大掃除を年1回おこなっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・必要に応じて、公民館や事務所2階を利用をしています。	・完全な個室はありません。仕切る等の工夫をしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・月1回職員全員にて、定例会で参画しています。 ・毎日、朝礼、夕礼をし確認等しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・職員全員で定例会を開催し、意向等についても話し合いをしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・職員全員で定例会議を開催し、話し合いの場を設けています。	・職員間で共有するために日報の張り出し、朝礼などで伝えることを徹底していきたいと思えます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		・第3者委員会設置が不明であるため、確認をします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・定期的な社内研修、社外研修等、受けています。	・職員が受けたい要望なども事前に調査していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・ホームページに記載されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・課題を客観的に分析している。計画を立てたものを実行しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・定例会、朝礼などで、子どもの支援などの話し合いを定期的におこなっています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・一人一人について、本日の目標や課題について話し合いをしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	・活動の会議をおこなっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・他の施設、学校、教材本などを参考に、新しいもの等を取り入れようと努めています。	・いろいろな障害、年齢などを考慮して、プログラムを作成していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・専門的支援を個別、小集団で実施しています。	・個々に応じて難易度等考慮していきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・パート職員とも支援開始前に気づきの点なども話し合う機会があります。 ・朝礼を欠かさず行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・夕礼で職員の気づきがあったことを、共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・毎日、担当を決めケース記録を録っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	・1年間の予定を立て、定期的に見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	3	・保護者さんにも4つの基本活動を知ってもらいたいと考えています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・視覚的ツールを用いたり、分かりやすい言葉で伝えています。 ・子どもたちの意見等を尊重して取り上げて決めることもあります。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		・体制はあるが関係性はまだ希薄です。こちらからもコンタクトをとっていきたくと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・学校のお迎え時や参観などにも伺い、連携をとって支援に役立てています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		・見附市内の保育園の情報提供がありません。保育園、幼稚園とも関係性が持てるように関係先への要望も上げていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	・卒業になった方がいないため、今後の課題である。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		・見附市内の助言箇所が不明ですので、確認をしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	4	・他事業所さんと交流会を設けています。 ・公民館やネーブルみつけなどのイベントへの参加をしています。	・今後の課題で検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	・見附市自立支援協議会へ参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		・情報提供は出来るが、研修の提供はできていません。職員の勉強が必要になります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に説明をしています。支援プログラムについてはホームページにも掲載しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けて「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			・すべてをお伝え出来ないこともありましたので、丁寧さを心掛けていきます。
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・いつでも、気軽に相談などが出来る体制作りをしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		・年に1回、保護者会と親子行事を開催しています。（兄弟参加型）	
	40	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			・苦情があった時には、迅速に丁寧な対応をしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		・あっとほーむ便りやインスタ、エックスを活用しています。	
	42		8			

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・SNSに掲載時には、個人を特定できないように写真の加工しています。 ・知り得た情報は会社内、受診時、会議等のみに限定しています。	・情報の扱いには十分注意をしています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		・地域住民の方を招待することができていません。ターゲットを決め交流できるように計画をしていきます。今後の課題になります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・一人一人、いざというときに備えマニュアルを周知し訓練をしています。	・いざというときに行動できるように、置き場所を決め、定期的に確認をしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・研修をおこなっています。水等の災害時に備えています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		・服薬や、アレルギー、てんかんなどは確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・保護者様からの聞き取りをし、忘れない様に、冷蔵庫に提示しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		・契約時や保護者会などで、避難先などについては説明をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・必ずヒヤリハットを上げ、職員で共有し再発しない様に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・社内研修、社外研修を定期的に受けています。	・虐待と思ったら、すぐに連絡をできる対応を迷わず行えるように意識づけていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・社内研修、社外研修を定期的に受けています。	・身体拘束については、社内で検討をし行う場合には保護者様へ説明をしていきます。